

令和八年度 熊本県立大学文学部
日本語日本文学科 特別選抜 学校推薦型選抜
入学試験問題

小論文

【注意事項】

- ① 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いて中を見てはいけません。
- ② 問題用紙は、この表紙を含め七枚あります。
- ③ 解答用紙の指定の欄に、受験番号、氏名を記入しなさい。
- ④ 解答は、必ず解答用紙に記入しなさい。
- ⑤ 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- ⑥ 試験終了後、問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰ってください。

(問題文は、3ページからです。)

次の文章をよく読んで、後に記す設問に答えよ。なお、解答用紙への記入の際は、正しい原稿用紙の使い方に従うこと。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(加藤陽子『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』朝日出版社、二〇〇九年七月)

注

レイテールフィピン中央部の島。太平洋戦争の激戦地。

ガダルカナルル太平洋ソロン諸島の南端に位置する島。太平洋戦争の激戦地。

関東軍Ⅱ満州（現中国東北部）に駐屯していた当時の日本陸軍部隊。

問① 傍線部Aについて、筆者の考える「それなりの理由」を、四〇〇字以内で記述せよ。

問② 傍線部Bに示されるように、本文中で述べられるような歴史に対する見解には、その当否をめぐって異なる意見も存在する。筆者は、そのような異なる意見も想定して様々な工夫を行い、慎重に論を進めていると考えられる。その工夫について、本文中で論拠として示されている各事例の特色に着目して、三〇〇字程度で述べよ。